

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)図書館法第3各号に規定する事項に関すること。 (2)図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3)市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4)読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5)図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(子ども情報センターにおいては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満~95%:4点	年次報告書P282(利用冊数) 平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 開館日数:日(R3:263日、前指定管理期間における平均日数:290) R3:66,689冊 前指定管理期間における利用冊数の平均:66,489冊 (R2:62,868冊、R1:74,531冊、H30:69,380冊、H29:64,149冊、H28:61,518冊)	4点	
				平均値比(100%)=利用冊数(66,689冊)÷66,489冊(上記①適用)						
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(子ども情報センターにおいては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満~95%:4点	年次報告書P283(利用人数) 平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 開館日数:日(R3:263日、前指定管理期間における平均日数:290) R3:12,621人 前指定管理期間における利用人数の平均:13,296人 (R2:11,659人、R1:15,053人、H30:14,424人、H29:13,123人、H28:12,219人)	4点	
				平均値比(95%)=利用人数(延べ12,621人)÷13,296人(上記①適用)						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点 仕様書に忠実:11~9点 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点 それ以下:2~0点	年次報告書P283~284 ①たじみ子どもの権利の日協賛事業/「ずら〜り ミニチュアだるま展」(133名) ②多治見市子ども情報誌「子ども夢ネット」の発行(年3回×11,000部) ③陶器まつりに訪れた乳児親子向けの授乳スペース「ベビーステーション」設置(2日間18名) ④図書展示事業/絵本、児童書、ティーンズ、一般書等、企画展示実施。84タイトル。	仕様書以上 14点	①たじみ子ども権利の日協賛事業として実施した「ミニチュアだるま展」は、参加者が縁起物としてのだるまの意味、だるまの色がもつ意味を学び、願いを込めて顔を描いたものを展示することで、個々の違いを知り、一緒に展示することで多様性について考える機会となった。 ②子ども夢ネットは、多西中・高生の協力でクイズを掲載したり、同校まんが部がデザインしたキャラクターを使用し、子ども達によりダイレクトに届く誌面作りがうかがえる。「お手紙まっています」等、子どもの考えを知る機会を創出。この手紙を届けるために、初めて子ども情報センターへ足を運ぶ子どももあり、施設を知っていただく機会ともなった。	14点		
					内容・事業数等が 期待以上:15~12点 例年通り:11~9点 例年よりやや劣る:8~7点 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	年次報告書P284~290 ①中学生・高校生の活躍とつながり「たじみアグレッション部」 (1)レツクイズ(多西中・高クイズ研究部) (2)個人作品展と年末年始の生け花展示事業(多西高茶華道部) ②おはなしの会と絵本なびげーたー@おすすめの本紹介 (1)ボランティアとともに開催するおはなしのかいぽっぽ、おはなしのかいE-ぽっぽ、絵本専門士によるおはなしの会(9回101名) (2)絵本なびげーたー(14回) ③わくわく親子講座 (1)ママヨガプラス(20回340名) (2)そざい探検ひらめきLABO(4回121名) ④親子ワークショップ (1)中山けーしーワークショップ オリジナルカードでじゃんけん対決!(2回58名) (2)ニットなアイツクレイジーパラブレスレットを作ろう(5回63名) (3)イラストレーター杉浦さやかさんとつくる心を伝えるプチカード作り(2回61名)	期待以上 13点	①「アグレッション部」では、中・高生の活躍の場を継続して提供されている。多西中・高クイズ研究部の生徒が、多治見と歴史に因んだクイズを作成。クイズに挑む子どもたちに自分の住む街をしってもらえる機会としている。 ②コロナ禍で作品を披露する機会のない多西高茶華道部の個人作品展を実施。来館者に作品を披露する機会を設けた。またティーンズ世代向け情報紙「テイクフリー」で展示レポートを掲載し、活躍を広く伝えることができた。 ③中止が続いたおはなしの会は、ボランティアメンバーがお勧めの1冊と参加者へのメッセージをブログで公開。つながりを継続し、おはなしの会の再開時には多くの参加を得ることができた。 ④そざい探検ひらめきLABOでは、素材をきっかけにして広がる遊びの世界を提案。「子どもは育つ、大人は変わる」をテーマにした造形遊びが好評を得た。 ⑤親子ワークショップでは、個性豊かな講師を招へいし、多くの親子の参加を得た。コロナ禍にかかわらず、いずれの講座もチケットは完売し、ニーズの高さがうかがえた。	13点	
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P292 ①職員による2階研修室ワックス掛け、壁紙補修、常夜灯カバー洗浄、蛍光管カバー、玄関周辺及び階段のタイルの清掃。道路沿いの植え込みの剪定。 ②女子トイレ内の床や壁、天井にミスト状の除菌消臭剤の散布。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。特に子どもが利用する観点から、コロナによる休館の機会を利用して注力した。	10点	
			②保守・点検			年次報告書P292 ①消防用設備点検は、業者に委託し年2回実施。 ②職員による月2回の日常点検及び年2回の定期点検、空調点検をチェックシートに従い実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③保安・警備			年次報告書P293 ①業者による機械警備業務を毎日実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④小規模修繕			年次報告書P293 ①有償修理 全5件、総額141,086円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P293 ①職員による月2回の日常点検及び年2回の定期点検をチェックシートに従い実施。全職員が担当し、予防保全の観点からの建物管理を徹底、不具合箇所の早期発見に努めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	12	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P294 ①永久保存文書27冊を一覧表にまとめ、番号を付与、写真を貼付け、管理。 ②多治見市のファイリングシステムに準拠する方法により、適切に文書管理を実施。 ③不要な文書は作成しないことを心がけるとともに保管場所は退勤時に施錠。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P294 ①LED蛍光管へと切替え推進。 ②換気のために常時窓を開けていることによるエアコンへの負担を軽減すべく、設定温度に留意、クール・ビズ、ウォーム・ビズを推進。 ③水銀を使用した電球(58個)を、専門業者に委託し処分。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P294 ①軽度の発達障がいを持つ利用者(子ども)を把握、職員で共有し、適切な関わりを持つことで、十分に図書館を楽しんでもらうことができるよう心掛けている。 ②障がいのある方が利用される場合には、その都度職員が対応する体制をとっている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。エレベーターがないため、個々の利用者の事情に応じた対応を意識している。		
			④備品管理			年次報告書P294 ①備品はすべて定位置を決めて保管している。 ②必要以上に在庫を持たないことで、管理棚の省スペース化を徹底し、取り出したい備品がすぐに見つかるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施している。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P294 ①情報流失防止として、図書館システムのサーバーは事務所用回線から独立。 ②各種申請書等個人情報の記載された書類は、確認処理が済み次第粉碎処理。 ③講座開催時は、撮影の可否を確認、通信やホームページの掲載に配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施している。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし。	0点		
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入282,865,568円÷支出280,585,006円＝101% (学習館、図書館、市民活動交流支援センター含む)	105%未満～100% 4点	【参考】 ①指定管理料 128,992千円(図書館本館含む) ②施設独自の収支(人件費、本部経費等を除く。図書館本館を除く) (1)収入／文化事業収入283千円、雑収入9千円 (2)支出／管理運営費4,497千円、文化振興事業費1,055千円	4点		
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P296 ①「カルチェ・ララ ～子どもとはじめる季節の行事、子どもと楽しむ伝統の技～」(年間7回348名) (1)「子ども達に季節の行事の由来などをしっかりと伝えたい」という若い母親からの要望に応えたもの。 (2)従来より季節の行事をちなんだ絵本の企画展示や館内装飾を行ってきたが、より具体的に季節や行事について発見・体験できる場の提供として企画。 (3)講座だけでなく、感染症対策として家庭でも楽しめるクラフトキットも配付。	期待以上 9点	①子ども情報センターは本へのアプローチだけでなく、親子が安心して過ごせることができ、一緒に新しい世界に出会える場所でもあり、そのニーズは多様である。 ②季節の行事を子に伝えていきたいという親の願いは、親自身が学びたいというニーズでもあり、カルチェ・ララの企画は有意義な取組みとうかがえる。 ③回数とともに延べ参加者数も多く、継続に期待する。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P297 ①本を読む楽しみを途切れることなく届けることを大切に、図書館の本を子ども達とのうち時間に活かしてもらえよう工夫した。 (1)ママヨガプラス／ヨガ講座後に職員による絵本の紹介(5回講座×4回) (2)朝日学生新聞社の社員が教える文書・ノートまとめ術 (3)「みんなでブックレビュー！」テイクフリー特別版 ・ライトノベルや小説を貸し出す際、レビュー用紙を配布。読後感想を募集し紹介。 (4)「よみものいろは帖」配布 ・求めている本に短時間でたどり着けるよう、まとめたものをWebとチラシで配布。 1)赤ちゃん絵本からおはなし絵本へ 2)字の多くなった本も楽しくなってきた時期に 3)本がたのしめるときがきたら 4)大人にこそおすすめしたい絵本と児童書 ②賑やかな庭づくりをめざす施設周りの緑地整備	期待以上 14点	①利用者により一層本に親しんでもらえるための、きめ細かな取り組みが実施されている。 (1)ママヨガプラスはヨガ講座終了後の新たな取組みであり、保護者に絵本選びの楽しさを伝えることができた。 (2)教える文章・ノートまとめ術では、プロの指導で個性豊かな新聞づくりを行い、文章や言葉への関心につなげる取組みが行われている。 (3)10代への新たなジャンルの本に出会う場の提供や、絵本選びで迷いやすい時期のものの紹介に取組み、一方で読み物の動向などニーズの把握に努めている。 ②施設周りの緑地整備 小さいが趣のある前庭や花壇があるため、これらの整備を段階的に計画しており、子どもに親しまれる施設として周辺環境の改善を進めていこうとしている。 ③令和2年度に続き臨時休館や時間短縮に翻弄されながら、安心安全な施設運営に努めた。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし		0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点		
合計				97	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点	極めて良好